

週日の説教

金 大烈 神父 2010年7月10日(土)

《恐れるな -心配を超える希望を持ちましょう-》

一年くらい前にも同じような話を申し上げたのですが、今日は少し違う内容で、もう一度紹介させていただきたいと思います。

ある会社で、500人くらいの社員を対象に、何日間かけて「1日に何回笑うのか。」を調べてみました。すると、平均で「1人1日10回くらい笑う」という結果になりました。もちろん、うちの教会の中には1日に100回笑う方もいらっしゃるでしょうが、その方は泣くのも1日100回泣いてしまうのかもしれませんが(笑)。とにかくこの500人の場合は、1日に平均10回くらい笑っていたのだそうです。そして、1回笑うのにかかる時間は、平均8.6秒だったそうです。ということは、1人の人が1日に笑っている時間は1分26秒くらい、ということになります。

また、同じ500人に対して心配する時間も調べていました。1日の中で1人の人が心配している時間は、どのくらいだと思いますか。平均3時間6分だったそうです。人生を100年と考えると、13年間くらい心配していることになります。すごいですよね。

さあ、私たちには耳はいくつありますか。2つですよね。その2つの耳のそれぞれに違うイヤホンをつけて、違う音を聞かせたとします。すると、特別な能力を持っている人でなければ、どちらか一方の耳の音だけを聞こうとしてしまう傾向があります。もし、片方の耳には希望の音を、もう片方の耳には心配しなければならぬ音を聞かせたら、皆様ならばどちらに傾くでしょうか。

これは、心の問題です。自分がどちらに耳を注ぐのか、傾こうとするのかによって、考え方は変わるといえることです。そして、笑いながら人生を過ごすのか、心配しながら過ごすのかによって、その人の人生は180度変わります。

今日の福音(マタイ10:24-33)で、イエス様はいろいろなことをおっしゃったのですが、一番大事なことは「恐れるな」です。では、何をするのに「恐れるな」とおっしゃったのでしょうか。これは、弟子たちを派遣する前の言葉です。たぶん、派遣される弟子たちはいろいろなことで不安に陥ったのでしょう。いろいろな恐れを感じたのでしょう。しかしその時、イエス様ははっきりと「恐れるな」とおっしゃったのです。

もし私たちにこの恐れのない心ができれば、きっともっと幸せになれるでしょう。昨日のミサで「これからは毎日5回くらい(もちろん人によって回数に差はあるでしょうが)大きい声で笑いましょう。」とお話したのは、今日の話と同じ意味で話しました。できるだけたくさん笑いましょう。心配をしても変わることはありません。むしろもっと悪くなるだけです。

今日の福音を通して、どのような時でも、“できるだけ希望的なこと”、“できるだけ肯定的なこと”、“できるだけ自分を笑わせること”、そういうことを思い出そうと頑張ることも一つの福音的な生き方

ではないかと思いました。

しかし、心配しますね。だから、心配を超える希望を持ちましょう。

ありがとうございました。